

平成26年度事業報告

＜全般的な状況＞

【観光立国の実現へ】

平成26年6月、国の観光立国推進閣僚会議において、2020年(平成32年)オリンピック・パラリンピック東京大会の開催という絶好の機会を捉え、これを追い風として、さらなる観光立国の推進を図るべく、2020年に向けて、訪日外国人旅行者数2000万人の高みを目指すとした「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014」が取りまとめられた。

観光は、力強い地域経済を取り戻すための柱であり、加えて、人口減少・少子高齢化が進展する中、国内外からの交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させるとともに、国際相互理解・国際交流を深める重要な分野である。

【京都府観光連盟の新たな取組】

京都府北部地域においては「海の京都」、府南部地域においては「京都駅からひと足のばし」を基軸として、地域の歴史・文化・景観を活かした観光振興に取り組んでいる。

事業実施にあたっては、これまでの取組に加えて、①市町村観光振興の支援と②会員サービスの充実を図るため新たな取り組みを行った。①については、毎年9月に東京で、旅行会社を対象に実施してきた「観光プロモーション会議」を、平成27年2月に京都で初めて開催した。②については、平成26年6月から、当連盟HPに、市町村・観光協会は「新着情報」欄に直接入力・配信ができるようにし、また連盟会員はTwitter投稿枠に直接ツイートできるシステムとした。

さらに、新規事業として、京都の夏の風物詩として親しまれている「鴨川納涼」及び京都府の西のエリアの観光振興を図る「京都・西の観光推進協議会」の事務局を担当し、事業を実施した。

また、「森の京都」を浸透させるため、森の京都観光情報サイトの制作を行った。

そのほか、国の地域人づくり事業を活用し、おもてなしの研修を通じて観光業従事者の処遇改善をめざす「新・観光おもてなし未来塾」を開講した。

【海の京都事業】

海の京都観光推進協議会(当連盟が事務局)が申請した「海の京都観光圏」整備実施計画が、平成26年7月に国(観光庁)から新たに「観光圏整備法」に基づく観光圏に認定された。計画期間は平成26～30年度の5年間で、滞在交流型観光事業等を戦略的に実施し、日本の顔となるブランド観光地域をめざした取組を進めている。

<取組状況>

1 組織活動の強化

(1) 会員数の状況

平成26年3月31日(月)の会員数 288会員

平成27年3月31日(火)現在の会員数 294会員

(平成26年度の異動状況 入会11会員、退会5会員)

(2) 理事会及び総会の開催

◇理事会(第1回) 平成26年5月16日(水) 理事16名、監事2名出席

役員を選任(総会上程案)と観光関連事業功労者等表彰について報告し、平成25年度の事業報告案と収支決算案、平成26年度の事業計画案の変更及び補正予算案、北京都事務局の設置等について承認を得た。

◇総会 平成26年6月13日(金) 出席会員 225名(委任状を含む)。

平成25年度の事業報告と平成26年度の事業計画及び収支予算、北京都事務局の設置等を報告し、役員を選任案と平成25年度収支決算案について承認を得た。

◇理事会(第2回、書面によるみなし理事会)

平成26年6月30日(月) 理事全員の同意、監事の確認を得て、副会長を選任した。

◇理事会(第3回) 平成27年3月16日(月) 理事18名、監事2名出席

平成26年度事業の実施状況を報告し、平成26年度収支補正予算案、平成27年度事業計画案及び収支予算案について、承認を得た。

(3) 観光関連事業功労者等の表彰

・平成26年4月11日(金) 観光関連事業功労者等表彰選考委員会

・平成26年6月13日(金) 観光関連事業功労者等表彰(観光連盟総会にて)

表彰区分	被表彰者数
観光功労者	6人(知事表彰1名、会長表彰5名)
優良従業員・職員表彰	17人(知事表彰1名、会長表彰16名)
優良観光団体	会長表彰1団体

(4) 関係機関・団体等との連携

各種委員会等への参画をはじめ、観光協会、市町村、物産団体、旅行・運輸業界、社寺、その他観光関連団体・機関等の会議・催し等に参加し、連携を深め、観光関連業界の振興と発展に努めた。

2 観光情報発信機能の強化

(1) 京都総合観光案内所(愛称:京なび/京都駅ビル内)の利用状況

京都府と京都市が共同で設置し、当連盟も参画している「京都総合観光案内所運営協議会」により運営の京都総合観光案内所において、府域の観光案内を実施するとともに、観光情報の提供等により府域観光地への誘客促進に努めた。

窓口問合せ数	日本人	外国人	合計
26年度	454,163人 (91.0%)	323,680人 (121.5%)	777,843人 (101.6%)
25年度	499,075人	266,505人	765,580人

()は対前年比(電話相談件数を除く)

(2) 京なびでの企画展示(市町村観光協会等の観光PRコーナー)

4月18日(金)～30日(水)	春の京都・文化財探訪
5月2日(金)～14日(水)	丹波エリア
5月16日(金)～28日(水)	山城エリア
5月30日(金)～6月11日(水)	乙訓エリア
6月13日(金)～25日(水)	海の京都エリア、海フェスタ
6月27日(金)～8月20日(水)	海フェスタ、海の京都エリア、 海水浴、花火大会
8月22日(金)～9月17日(水)	丹波エリア
9月19日(金)～10月15日(水)	乙訓・南丹エリア
10月17日(金)～29日(水)	秋の南山城文化財探訪 (山城4市合同 PR 展)
10月31日(金)～11月26日(水)	紅葉だより
11月28日(金)～12月24日(水)	グルメ特集
12月26日(金)～1月14日(水)	除夜の鐘・初詣
1月16日(金)～2月11日(水)	冬のイベント特集(府全域)
2月13日(金)～3月11日(水)	春の草花特集(第1弾)

併せて、京都駅からひと足のばしで行くことができる府内の観光スポット、イベントなどを電子ポスターで掲示した。(17件)

(3) 丹後観光情報センター(京都丹後鉄道天橋立駅舎内1階)の利用状況

	来訪者数(うち外国人)	電話問合せ	合計
26年度	42,654人(6,276人) (118.4% (120.0%))	6,819件 (177.3%)	49,473件 (124.1%)
25年度	36,022人(5,229人)	3,847件	39,869件

()は対前年比

(4) 「観光だより」の発行

府内の行催(祭)事、花だより、味覚などを、各市町村等の協力により四半期ごとに取りまとめ、Webサイト上で発行するとともに、ダウンロードできるようにし、利便性の向上を図った。

発行日 : 「夏・秋号」平成26年5月22日(木)
「秋・冬号」平成26年8月25日(月)
「冬・春号」平成26年11月21日(金)
「春・夏号」平成27年2月25日(水)

(5) 観光情報データベースの整備と管理

観光データベースの更新を行い、サイトによる情報発信を行った。

・Webサイトのアクセス状況

	26年度	25年度
訪問者数	1,366,174 件	1,444,867 件
1日あたりの訪問者数	3,743 件	3,959 件
ページビュー(PV)	16,119,473 PV	14,430,156 PV
1日あたりのページビュー	44,160 PV	39,535 PV

・Webサイトでの新着情報の発信

新着・注目情報提供数 128件

・Twitter 投稿枠設定<新規>

連盟会員が連盟HPに直接ツイートできる欄を設置 118件

・市町村観光パンフレットダウンロード提供

PDF ファイルダウンロード提供数 55件

・ロシア語サイト制作<新規>

京都舞鶴港を活用した平成27年度から予定されている国際フェリー就航に合わせ、ロシア人向けにロシア語のサイトページを設けた。

これまでの英、中(繁体・簡体)、韓に加え、4か国語目の外国語対応となった。

・連盟サイトによる花だよりの提供

桜の見どころ	135か所	紅葉の見どころ	146か所
つつじ・さつきの見どころ	39か所	梅・椿の見どころ	38か所
あじさいの見どころ	20か所		

・その他の情報提供

観光農園(ぶどう・梨)の案内	9か所	除夜の鐘の案内	36か所
観光農園(くり・いもほり・柿)の案内	13か所	初詣の案内	19か所
冬の味覚の案内	23か所	節分の案内	19か所

(6) 広報・宣伝の支援

観光事業を後援するとともに、旅行エージェント向けに観光写真データを貸し出すことにより、府域の観光PRに努めた。

- ・後援件数 98件
- ・フィルムライブラリー写真提供数 45件 316枚

(7) 桜の開花情報及び紅葉情報の提供

府内各地の桜の開花情報及び紅葉情報を定期的に市町村・観光協会の協力を得て収集し、主な関係先へ送付するとともに、Webサイトでの情報発信を行った。また、京都総合観光案内所及び丹後観光情報センターに看板で掲示し、観光客の利便を図った。

区分	表示件数	掲示期間
桜開花情報	京都市域45か所 府域56か所(比叡山2か所含む)	平成26年3月20日 ～4月17日
紅葉情報	京都市域71か所 府域49か所(比叡山を含む)	平成26年10月23日 ～12月8日
桜開花情報	京都市域45か所 府域56か所(比叡山2か所含む)	平成27年3月19日 ～4月16日

(8) 観光情報ファイルの提供

公益社団法人日本観光振興協会に対し、府内観光情報の提供を行い、同協会の広報媒体を活用して広く情報発信を行った。

また、スマートフォンアプリ「旅ぶら関西」や、平成26年2月から実証運用を開始した「観光・防災アプリ KYOTO Trip+」に観光情報を継続提供し、また平成27年度から公開した「森の京都」観光情報サイトともデータ連携を開始した。

(9) 観光振興への拠出

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域観光振興事業に協力するため、拠出を行った。

3 観光客誘致対策の強化

(1) 観光PRツール作成による広報宣伝

府内の「海水浴場ガイドマップ」、「主な花火大会」、「除夜の鐘&初詣」を取りまとめたものを作成し、Web サイトから印刷できるようにするとともに、「京なび」に配架した。

また、京都駅からひと足のばしで行ける府内の「紅葉ガイドマップ」や「春の花ガイドマップ」を作成した。

(2) 京都府・JR西日本観光連携協議会(事務局:当連盟)

JR西日本と協働し、乙訓・山城・南丹地域を対象にJR沿線の観光PRを行う協議会総会を8月29日(金)に開催し、フライヤー「ひと足のばしてもっと京都新発見」を時点修正して増刷するとともに、JR西日本広報紙「西Navi 2015年1月号」を活用して「南山城の古寺の仏たち」をPRした。

○着地型マップのJR3沿線の25コースについて修正し、各駅に配架した。

・JR京都線(6コース) ・JR奈良線(10コース) ・JR嵯峨野線(9コース)

(3) 京都・西の観光推進協議会(事務局:当連盟) <新規>

「京都・西の観光振興会議」を改組し、新たに関係市町を加え、平成26年10月2日(木)に設立された「京都・西の観光推進協議会」において、府の西部エリア(向日市、長岡京市、大山崎町、亀岡市、南丹市、京丹波町、京都市西部地域)の観光の魅力をPRするため、次の事業を実施した。

① 観光魅力PR展

- ・開催日時 1月24日(土)・25日(日) 両日11時~18時
- ・会場 イオンモール京都桂川 1階 「竹の広場」・「月の広場」
- ・内容 関係市町、バス・鉄道会社などのブース出展、観光案内、パンフ類配布、観光アンケート実施、ガラガラ抽選会、ご当地キャラ大集合、東映太秦映画村の大道芸

② 新しい旅の提案事業(バスツアーなど)

- ・《第1弾》「錦水亭、竹御膳と乙訓の至宝に触れる特別な旅」(京都定期観光バス)
運行日:2月22日(日)、3月8日(日)
- ・《第2弾》バスツアー「時代劇役者とロケ地を巡る旅」
実施日:亀岡・南丹エリア(3月6日(金))、南丹美山町エリア(3月20日(金))
ツアーにマスコミを招待し、森の京都エリアの観光魅力をアピールした。

③ 乙訓歴史探訪ミステリークイズラリー(3月21日(土))

向日市朝堂院公園~乙訓地域の歴史名所探訪~阪急大山崎駅周辺

(4) 森の京都発信事業 <新規>

京都府の地域構想である「森の京都」について、観光情報の発信を行った。

①メディアを活用した発信

リビング京都 3月28日号に森の京都の魅力について特集記事を掲載した。

②森の京都観光情報サイトの制作・開設

森の京都の拠点エリアなど、観光の観点からの情報を発信するために、森の京都観光情報サイトを制作し、27年度から公開することとした。

(5) コンシェルジュ等観光情報現地説明会

京都市域のホテル・旅館の宿泊施設のコンシェルジュ等に対して、府域の観光情報を提供し、実際の現地訪問によって各地の観光資源の魅力を体感してもらうことにより、京都市内からの誘客を促進するために実施した。

- ・日 程：平成27年2月18日(水)
- ・訪問先：美山かやぶきの里、美山ふれあい広場、グンゼ記念館、あやべグンゼスクエア、福知山城
- ・参加者：13施設17人

(6) NHK大河ドラマ誘致推進協議会との連携

NHK大河ドラマの題材として、戦国武将の明智光秀とその娘 細川ガラシャを中心に親子・夫婦の絆を描く物語を提案しているところであり、当連盟でも、Web サイト・電子パンフレット・電子ポスター、PRチラシを作成するとともに、民放テレビ番組の制作に特別協力し、誘致活動を支援した。

(7) TANTAN ロングライドとの連携

海の京都 TANTAN ロングライド 2015 実行委員会が主催する本事業について、前夜祭、当日の応援など開催の支援を行った。

- ・開催日 平成26年6月8日(日)
- ・会 場 中丹・丹後地域一帯

(8) 乙訓・八幡広域観光連絡協議会との連携

乙訓・八幡広域観光連絡協議会が外国人向け(英語)に作成した発地マップ制作について、支援を行った。

(9) 海の京都観光推進協議会(事務局:当連盟)

① 組織活動

ア 海の京都観光推進協議会事務局の移転

4月7日(月)、事務局をKTR宮津駅ターミナルセンター内からKTR天橋立駅近接の「ちえのわ館」に移転した。

イ 海の京都観光推進協議会総会の開催(4月21日(月))

関係者60人の出席のもと、「平成25年度事業報告案及び収支決算案」、「平成26年度事業計画案及び収支予算案」について承認された。

ウ 海の京都観光圏整備実施計画の認定

6月23日(月)、「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する

法律」第8条第1項の規定に基づき、「海の京都観光圏整備実施計画」を観光庁へ申請し、7月4日(金)付けで同計画が近畿で初めて認定された。

エ 観光地域ブランド戦略の策定

海の京都観光圏のブランド確立のため、「観光地域ブランド戦略」を策定し、3月30日(月)に観光庁へ提出した。

② 観光プロモーション事業

ア 中部圏の各媒体におけるプロモーション

イ 海フェスタ京都への出展 <新規>

平成26年7月19日(土)～8月3日(日)に開催された海フェスタにおいて、「海の京都」の展示を行い、「酒蔵めぐり」を出展し、広く地酒、酒蔵をPRした。

ウ ツーリズムEXPO(9月26～28日、東京ビックサイト)への出展 <新規>

国内最大級の観光展示会「ツーリズムEXPOジャパン2014」に「海の京都」として初出展。13酒蔵の試飲コーナーや特産品の試食コーナーを設置し、食の豊かさを表現した。

エ BS-TBS特別番組の制作・放送 <新規>

海の京都観光圏のブランドコンセプトを全国に発信するため、首都圏メディアによる海の京都特別番組を制作・放送した。

オ 広報物の作成

- ・海の京都パスポート(第3版)の発行(10万部)
- ・海の京都おでかけガイドの作成(3万6千部)
- ・わおマップ「海の京都」版の作成(6万部)
- ・海の京都ブランドブックの作成(1万部)

カ ホームページの改編

海の京都観光圏のコンセプトやコンテンツの味わい方などを的確に情報発信するため、ホームページを改編した。

③ 誘客連携事業

ア 大型クルーズ船寄港に伴うPR活動

イ 酒蔵めぐりの開設 <新規>

酒造り、酒蔵の地域資源を活用した周遊型ツアーへの誘客を図るため、4月27日(日)、「酒蔵めぐり」を「ちえのわ館」においてオープンした。

④ 観光圏マネジメント事業

ア マーケティング調査の実施

宮津天橋立IC、与謝天橋立ICでの通行量調査、観光客の満足度調査を実施した。

イ 観光地域づくりに取り組む地域への専門家の派遣

各地域が自主的に実施する観光地域づくりワークショップ等を支援するため、専門家を派遣し、コンテンツ整理とプログラムの造成に取り組んだ。

4 戦略的な観光プロモーションの強化

(1) メディア連携タイアップ

情報発信力の高い観光関係の雑誌・テレビを活用し、京都の旬の魅力を発信した。

雑誌2社 延べ16ページ掲載、テレビ1社 55分番組

発行日／ページ数	雑誌名／発行元	掲載内容
8月25日(月) 8ページ	『月刊リーフ 10月号』 (株)リーフ・パブリケーションズ	南山城の古寺巡礼
2月28日(土) 55分番組	特別番組『ナゾ解きガラシャ ・明智光秀』(株)朝日放送	光秀・ガラシャゆかりの地の紹介 京都縦貫道まもなく全線開通
3月17日(火) 8ページ	『ドライブ絶景&グルメ関西』 (株)昭文社	京都縦貫自動車道沿線観光 スポットのPR

(2) 京都新聞 企画連載記事『観光協会より 旬の見どころ』の調整

地域の人しか知らない穴場観光情報を、地元観光協会の職員から紹介してもらう
京都新聞の記事掲載の調整を当連盟で行った。

19観光協会 20回掲載

4月11日(金)	南丹市日吉町観光協会	日吉町郷土資料館
4月25日(金)	木津川市観光協会	古寺巡礼
5月9日(金)	与謝野町観光協会	大江山
5月30日(金)	亀岡市観光協会	保津川下り
6月 6日(金)	天橋立観光協会	丹後とり貝
6月20日(金)	宇治市観光協会	歴史散歩
7月 4日(金)	綾部市観光協会	水無月まつり
7月24日(木)	笠置町観光協会	夏まつり花火大会
8月22日(金)	伊根町観光協会	青島
8月29日(金)	福知山観光協会	養泉寺
9月19日(金)	京丹後市観光協会	ビーチノルディック
10月3日(金)	向日市観光協会	竹の径
10月17日(金)	京丹波町観光協会	京丹波食の祭典
11月7日(金)	長岡京市観光協会	長岡京ガラシャ祭
11月21日(金)	舞鶴観光協会	舞鶴かに
1月23日(金)	南丹市美山町観光協会	雪灯廊
2月6日(金)	八幡市観光協会	松花堂庭園
2月20日(金)	城陽市観光協会	青谷梅林梅まつり
3月6日(金)	京田辺市観光協会	大御堂観音寺の菜の花
3月20日(金)	南丹市日吉町観光協会	日吉ダム お花見広場

(3) 第22回京都観光プロモーション会議の開催(於東京)

首都圏の旅行会社や鉄道会社に対して、府域の新しい魅力ある観光資源などをまとめて紹介・宣伝し、商品造成を働きかける会議を東京で開催した。

- ・日 程：平成26年9月4日(木)・5日(金)
- ・場 所：都道府県会館会議室(地下鉄永田町駅)
- ・内 容：府域全体のプレゼンテーション、各観光協会の個別商談会
- ・参加社：10グループ
JTB・JCBトラベル、近畿日本ツーリスト、日本旅行、クラブツーリズム、
トップツアー、阪急交通社、東武トラベル、JR東海・JR東海ツアーズ、
日本航空・JALパック、ANAセールス
- ・京都府側の参加者：11グループ
京丹後・天橋立・舞鶴・南丹市美山町・亀岡市・長岡京市・宇治市・八幡市・
京田辺市・木津川市の各観光協会(+京丹後・舞鶴・南丹・亀岡・長岡京・宇治・
京田辺の各市)、京都府(植物園・京都国際現代芸術祭事務局)

(4) 観光プロモーション会議・京都の開催 <新規>

京都及び関西圏の旅行会社担当者に対して、府域の観光資源を紹介・宣伝する会議を京都で初めて開催した。

- ・日 程：平成27年2月26日(木)
- ・場 所：京都商工会議所会議室
- ・内 容：府域全体のプレゼンテーション、各観光協会の個別商談会
- ・参加のエージェント：4社 47人 JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、クラブツーリズム
- ・京都府側の参加者：東京での会議と同じ11グループ

(5) 旅行会社等への情報発信等

- ① 平成26年10月22日(水)、23日(木)に、JTB ガイアレック サン&サン事業部の京都・奈良研修旅行(社員31名)に同行し、八幡市(石清水八幡宮)・木津川市(岩船寺、当尾石仏めぐり、浄瑠璃寺)、京田辺市(一休寺)・宇治市(平等院)を案内した。
- ② 東京において、出版社の記者や旅行ライター、旅行会社などを対象にした会議に出席し南山城の寺社などをPRした。

5 観光イベントの実施

(1) 鴨川納涼2014の実施(事務局:当連盟) <新規>

鴨川美化啓発活動として昭和44年より開催され、京都の夏の風物詩として府民や観光客に定着している「鴨川納涼」について、平成26年度から京都府を中心とする鴨川納涼

実行委員会が主催となった。「京の七夕」と一体的に開催し、河川愛護・環境保全を啓発し、全国及び府内の観光・物産の振興を図り、交流と憩いの場を提供した。

- ・日 程：平成26年8月2日(土)・3日(日)
- ・場 所：鴨川 三条大橋～四条大橋間河川敷
- ・内 容：○全国郷土エリア(京都ふるさとの集い連合会(京都にある各県人会)による
全国ふるさと産品展示即売エリア、32道県から出展)、
○府内市町観光物産エリア((7市町から9ブース出展)
○普及啓発・観光案内エリア、染織・伝統文化啓発エリア
○友禅流しファンタジー
- ・ステージ出演：中央ステージ 計19組、三条「鴨川ふれあい空間」ステージ 計18組
- ・参加者：210,000人(8月2日 120,000人、8月3日 90,000人)

(2)「京の七夕」事業への参画

「願い」をテーマに、観光や伝統産業の振興、伝統・文化の継承を図るため、旧暦の7月7日を中心に5年目を迎えた『京の七夕』に実行委員会の一員として参画した。

- ・開催期間：平成26年8月2日(土)～11日(月) 10日間
- ・開催場所：堀川会場、鴨川会場
- ・参加者数：651,000人(前年比88%) (鴨川会場 373,000人、堀川会場 278,000人)

(3)「琳派」観光誘客促進事業

平成27年の琳派400年において、その機運を盛り上げるため行われるイベント「琳派400年記念プロジェクションマッピング」の広告等支援を行い、観光誘客につなげた。

① JR東海主要駅におけるデジタルサイネージによる広告

乗降客数の多い主要駅において動画による誘客を図った。

11エリア 200画面

(JR大阪駅4エリア、天王寺駅1エリア、新大阪駅1エリア、三ノ宮駅2 エリア、京都駅3エリア)

期間：平成27年3月2日～3月8日

② プロジェクションマッピング演出支援

効果的に演出するための花材等の購入や広報発表用の風神雷神図屏風(レプリカ)の借用などを行った。

6 物産展、観光展等への出展

(1) 府内特産品アンテナショップの運営

京都府から業務移管を受け、京都市営地下鉄京都駅構内(中央1改札口西側)において、府内特産品等を日替わりで販売するアンテナショップ「駅ナカ 京のふるさと出会い市」の出展調整をし、府域への観光誘客と府内産品の振興を図った。

・出展日数：延べ353日(土日祝を含む毎日)うち初出展16店

(2) 「京の味めぐり技くらべ展」での観光PR

府内の食品・工芸品が一堂に会し、展示販売を行う新春の恒例行事「第17回京の味めぐり技くらべ展」の開催に併せて、会場の一角に観光案内コーナーを設け、府内観光情報の提供、日替わりでの各地のご当地キャラの登場、また、海の京都エリアにある酒蔵のお酒の試飲などを実施し、府域の観光の魅力をアピールした。

・期 間：平成27年1月7日(水)～12日(月・祝) 6日間

・場 所：大丸京都店

・出展者数：79社 工芸27(4)、食品52(17) ()は新規で内数

・観光PR：宇治市、八幡市、亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、与謝野町

(3) イベント会場・観光展での観光PR

日本観光振興協会関西支部の関西観光展をはじめ、機会をとらえて観光ブースの出展を行うなど、府域観光のPRに努めた。

・4月13日(土)～14日(日) 鴨川茶店(府立植物園西の半木の道)

・8月3日(土)～4日(日) 鴨川納涼(鴨川三条～四条間)

・11月28日(金)～30日(日) ほんまにええとこ関西観光展 in 広島

・2月6日(金)～8日(日) ほんまにええとこ関西観光展 in 横浜

7 国際観光振興の対策強化

(1) インバウンド商談会への参加

・名 称：VISIT JAPAN Travel Mart 2014

・日 程：平成26年9月24日(水)～26日(金)

・場 所：東京ビッグサイト(東京都江東区有明)

・対 応：宇治市観光協会、八幡市観光協会と共同で実施

・内 容：面談バイヤー数 12か国33社 面談メディア数 2か国2社

・備 考：ツーリズムEXPOに合わせて開催された

(2) 海外誘客のための実行委員会等への参画

① 京滋国際観光誘客推進事業

京滋国際観光誘客推進委員会(京都府、滋賀県、(公社)びわこビジターズビューロー、当連盟)の事務局を担当し、6月30日(月)に総会を開催した。

国のビジット・ジャパン地方連携事業を活用して、10月19日(日)～26日(日)にマレーシアのメディアを対象とした招請ファムトリップを実施した。

② 海外有力プレス関係者等招請事業

海外有力プレス関係者等招請京都委員会(京都府、京都市、(公社)京都市観光協会、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、当連盟)の事務局を担当し、アジアをはじめとする海外のプレス関係者等を招請して、京都取材への協力を行った。

8 京都観光を担う人材との連携・育成

府内各地域の観光の未来を担う人材の育成・活用のため、関係団体との連携を深めた。

(1) 観光ボランティアガイド団体との連携

- ・5月22日(木) 京都SKY観光ガイド協会定期総会
- ・7月25日(金) 京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会総会
- ・10月22日(水) 京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会研修会
- ・12月5日(金) 京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会現地研修会
- ・12月12日(金) やましろ観光ボランティアガイド交流会
- ・3月19日(木) 京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会活動報告会

(2) 京都観光未来創造ネットワーク

- ・7月3日(木) 京都観光未来創造ネットワーク総会
- ・11月5日(水) 京都観光未来創造ネットワークと共催で講演会を開催

9 新・観光おもてなし未来塾(国の地域人づくり事業)の開催<新規>

海外誘客に対する受入態勢の強化、ITを活用した情報発信などの環境整備等を図ることにより、観光関連企業等の売上拡大につなげ、最終的に観光業従事者の賃金引き上げ等の処遇改善をめざして、宿泊施設等の観光業従事者を対象とした研修を、北部と南部で開催した。

◆北部会場(宮津市):平成26年8月20日(水)~10月15日(水) 8回

- ・修了者:対象者11名、オブザーバー1人
- ・内容:おもてなし・語学セミナー(ベトナム、タイ、インドネシア)、ITセミナー

◆南部会場(京都市) 平成27年1月27日(火)~3月3日(火) 6回

- ・修了者:対象者9名、オブザーバー4人
- ・内容:おもてなし(ハラルの基本情報等を含む)、語学セミナー(インドネシア、マレーシア、タイ)、ITセミナー